

DERWENT-ACC-NO: 2001-403868

DERWENT-WEEK: 200143

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Internet facsimile sets up time interval to access the
mail server in the time zone allotted to every user

PATENT-ASSIGNEE: MITA IND CO LTD[MTAI]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0303001 (October 25, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2001127943 A	May 11, 2001	N/A	004	H04N 001/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2001127943A	N/A	1999JP-0303001	October 25, 1999

INT-CL (IPC): G06F013/00, H04L012/54 , H04L012/58 , H04N001/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001127943A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Facsimile data sent to user's addressee is stored in the mail server (12). Facsimile data stored in mail server is received, when the user access the mail server. Time interval is setup to access the mail server in the time zone allotted to every user.

USE - For transmitting and receiving facsimile data using internet protocol networks such as internet and intra networks.

ADVANTAGE - Since the time interval is setup to access the mail server, wasteful communication is reduced and service efficiency is improved.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of facsimile communication system. (Drawing includes non-English language text).

Mail server 12

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: FACSIMILE SET UP TIME INTERVAL ACCESS MAIL SERVE TIME ZONE ALLOT
USER

DERWENT-CLASS: T01 W01 W02

EPI-CODES: T01-H; W01-A03B; W01-A06G2; W02-J;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-298373

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-127943

(P2001-127943A)

(43) 公開日 平成13年5月11日 (2001.5.11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 B 0 8 9
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 C 0 6 2
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B 5 K 0 3 0
12/58			9 A 0 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-303001

(22) 出願日 平成11年10月25日 (1999. 10. 25)

(71) 出願人 000006150

京セラミタ株式会社

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

(72) 発明者 佐佐木 渡

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(72) 発明者 長谷 弘彰

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(74) 代理人 100086391

弁理士 香山 秀幸

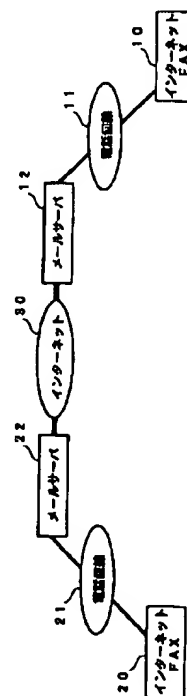
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネット F A X

(57) 【要約】

【課題】 この発明は、自己が所属するメールサーバにアクセスする時間間隔を時間帯毎に設定することができ、これにより、無駄な通信費の削減および業務効率の向上化を図れるインターネット F A X を提供することを目的とする。

【解決手段】 自己宛に送られてきた F A X データが自己が所属するメールサーバに蓄積され、メールサーバに自己がアクセスすることによって、メールサーバに蓄積された自己宛の F A X データを受信するインターネット F A X において、1 日を複数に分割した時間帯毎に、自己が所属するメールサーバにアクセスする時間間隔を設定する手段を備えている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 自己宛に送られてきたFAXデータが自己が所属するメールサーバに蓄積され、メールサーバに自己がアクセスすることによって、メールサーバに蓄積された自己宛のFAXデータを受信するインターネットFAXにおいて、

1日を複数に分割した時間帯毎に、自己が所属するメールサーバにアクセスする時間間隔を設定する手段を備えていることを特徴とするインターネットFAX。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、インターネット、イントラネット等のIPネットワークを利用してFAXデータを送受信することができるインターネットFAXに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット、イントラネット等のIPネットワークを利用してFAXデータを送受信することができるファクシミリ装置（インターネットFAX）の通信形態として、送信側のインターネットFAXから送信したFAXデータが、送信側のインターネットFAXの所属するメールサーバ（送信側メールサーバ）を介して受信側のインターネットFAXの所属するメールサーバ（受信側メールサーバ）に送られて受信側メールサーバに蓄積されるものがある。

【0003】受信側のインターネットFAXは、受信側メールサーバに定期的にアクセスすることにより、受信側メールサーバに蓄積されている受信側インターネットFAX宛のFAXデータを受け取る。

【0004】受信側のインターネットFAXから受信側メールサーバにアクセスする時間間隔は、通常、初期設定において設定可能となっているが、FAX受信の多い時間帯、FAX受信の少ない時間帯にかかわらず一定である。

【0005】受信側のインターネットFAXから受信側メールサーバにアクセスする時間間隔を比較的短く設定した場合には、特に、国内の加入電話回線を使用してプロバイダのメールサーバにアクセスするような通信形態では、FAX受信の少ない時間帯に、必要以上にメールサーバにアクセスして無駄な通信費を発生する割合が多くなるという問題がある。

【0006】一方、受信側のインターネットFAXから受信側メールサーバにアクセスする時間間隔を比較的長く設定した場合には、受信側メールサーバにFAXデータが送られてきてから、受信側のインターネットFAXがそのFAXデータを取得するまでに時間がかかり、業務効率が低下するといった問題がある。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、自己が所属するメールサーバにアクセスする時間間隔を時間帯毎

に設定することができ、これにより、無駄な通信費の削減および業務効率の向上が図れるインターネットFAXを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この発明によるインターネットFAXは、自己宛に送られてきたFAXデータが自己が所属するメールサーバに蓄積され、メールサーバに自己がアクセスすることによって、メールサーバに蓄積された自己宛のFAXデータを受信するインターネットFAXにおいて、1日を複数に分割した時間帯毎に、自己が所属するメールサーバにアクセスする時間間隔を設定する手段を備えていることを特徴とする。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、この発明の実施の形態について説明する。

【0010】図1は、ファクシミリ通信システムの構成を示している。

【0011】10は、インターネットFAXであり、電話回線11を介して、インターネットFAX10の所属するプロバイダのメールサーバ12に接続されている。

【0012】20は、インターネットFAXであり、電話回線21を介して、インターネットFAX20の所属するプロバイダのメールサーバ22に接続されている。両メールサーバ12、22は、インターネット30を介して接続されている。

【0013】ここでは、インターネットFAX10から、インターネットFAX20にFAXデータを送信する場合について説明する。送信側のインターネットFAX10から送信したFAXデータは、電話回線11、メールサーバ12およびインターネット30を介してメールサーバ22に送られて、メールサーバ22に蓄積される。

【0014】受信側のインターネットFAX20は、電話回線21を介してメールサーバ22にアクセスすることにより、メールサーバ22に蓄積されている受信側のインターネットFAX20宛のFAXデータを受け取る。

【0015】図2は、受信側のインターネットFAX20の概略構成を示している。

【0016】受信側のインターネットFAX20は、原稿画像を光学的に読み取って画像信号に変換する読取部101、受信した画像信号を記録紙に記録する記録部102、表示器および操作キーを備えた操作表示部103、ファクシミリ通信を行うための通信制御部104ならびにこれらの各機器を制御する主制御部105を備えている。主制御部105は、そのプログラム等を記憶するROM111、必要なデータを記憶するRAM112および書き換え可能な不揮発性メモリ113を備えている。

【0017】受信側のインターネットFAX20は、受

信側のインターネットFAX20から受信側のインターネットFAX20の所属するプロバイダのメールサーバ22にアクセスする時間間隔を複数の時間帯毎に設定することができる機能を備えている。

【0018】図3は、受信側のインターネットFAX20から受信側のインターネットFAX20の所属するプロバイダのメールサーバ22にアクセスする時間間隔（以下、受信間隔という）を複数の時間帯毎に設定するための受信間隔設定画面を示している。

【0019】この例では、1日を任意の4つの時間帯に分けることができるとともに、各時間帯毎にアクセス間隔を設定できるようになっている。そして、この例では、第1の時間帯として00:00~08:00が、第2の時間帯として08:00~12:00が、第3の時間帯として12:00~17:00が、第4の時間帯として17:00~00:00が、それぞれ設定されている。

【0020】また、第1の時間帯に対する受信間隔として120分が、第2の時間帯に対するアクセス間隔として10分が、第3の時間帯に対する受信間隔として20分が、第4の時間帯に対する受信間隔として30分が、それぞれ設定されている。

【0021】設定画面上で設定された各時間帯毎の受信間隔は、不揮発性メモリ113に格納される。主制御部105は、不揮発性メモリ113に格納されている各時間帯毎の受信間隔に基づいて、各時間帯の受信間隔を決定する。

【0022】なお、メールサーバ12が送信側のインターネットFAX10にLANを介して接続されたメールサーバであるような通信形態、メールサーバ22が受信側のインターネットFAX20にLANを介して接続さ

れたメールサーバであるような通信形態にもこの発明を適用することができる。

【0023】

【発明の効果】この発明によれば、自己が所属するメールサーバにアクセスする時間間隔を時間帯毎に設定することができるようになる。この結果、無駄な通信費の削減および業務効率の向上化が図れるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ファクシミリ通信システムの構成を示すブロック図である。

【図2】受信側のインターネットFAXの概略的な電気的構成を示すブロック図である。

【図3】受信側のインターネットFAXから受信側のインターネットFAXの所属するプロバイダのメールサーバにアクセスする時間間隔を複数の時間帯毎に設定するための受信間隔設定画面を示す模式図である。

【符号の説明】

10 インターネットFAX

11 電話回線

12 メールサーバ

20 インターネットFAX

21 電話回線

22 メールサーバ

30 インターネット

103 操作表示部

104 通信制御部

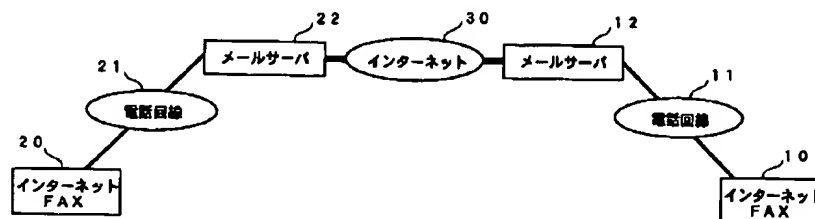
105 主制御部

111 ROM

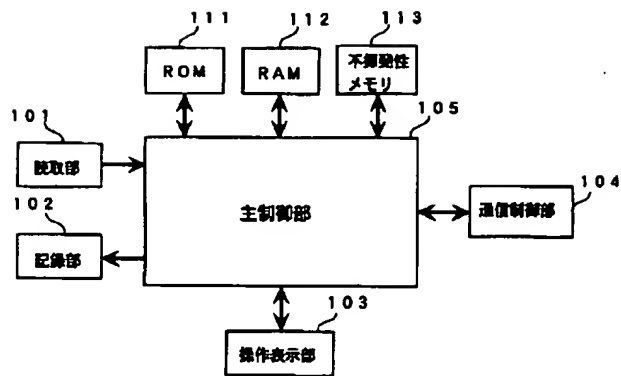
112 RAM

113 不揮発性メモリ

【図1】



【図2】



【図3】

受信間隔設定		
時間帯1	00:00~08:00	120分
時間帯2	08:00~12:00	10分
時間帯3	12:00~17:00	20分
時間帯4	17:00~00:00	30分

フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA26 HA10 JA05 JA31 KA16
 KB11 KC14
 5C062 AA02 AA13 AA29 AB46 AF06
 AF08 BC02
 5K030 GA20 HA06 HB04 HC02 JT05
 LD18
 9A001 BB01 BB03 BB04 CC07 CC08
 JJ14 JJ25 JJ27 JJ35 KK16
 KK31 KK42 KK56